

有志から広がる ユニセフ活動の輪

山梨英和中学・高等学校「国際協力プロジェクト」

山梨英和中学・高等学校では、同好会「国際協力プロジェクト(International Cooperation Project: ICP)」がユニセフ支援活動に取り組んでいます。数人の有志からはじまった活動が、学校に広がっていくようすをお伝えします。



ICPの会員の皆さん

国際協力プロジェクト(ICP)は山梨英和高校の今泉知英子さんを中心に5人の仲間が集まって結成されました。

黒柳徹子さんの『トットちゃんとトットちゃんたち』を読んで開発途上国の現状に驚いた今泉さんが、「厳しい状況にある子どもたちのことを一人でも多くの人たちに伝えたい」と考えたのがきっかけでした。

ICPの活動方針

知ること伝えること

ICPIは、「知ること」と「伝えること」を活動の柱にしています。月に一度の全員参加ミーティングは、勉強会「知ること」の場です。ユニセフからの資料などをもとに開発途上国の現状を話し合います。

「伝えること」の主な活動は月一度の ICP Times の発行です。勉強会の内容を反映させ、ユニセフの活動や開発途上国が抱える教育・保健の問題、子ども兵士、コンゴや東ティモールへの緊急募金の呼びかけまで幅広く記事に取り上げてきました。同好会なのでコピー代も自分達で負担しなければなりません*。毎回100枚を印刷し、各クラス、先生方に配っています。先生や他の生徒から「読んだよ」「がんばってるね」と声をかけられるようになり、「これ読んでみたら」と書籍を紹介してくれる先生も現れました。

地道なPR活動が最初に突っ立ったのは、学園祭でした。(*ICPIは会員の会費(半年1500円程度)でコピー代や文化祭の準備費用等をまかなっている。

学園祭の成果

ICPIは6月から9月の学園祭に向けて準備をはじめました。話し合いの結果、「ICPの部屋」をつくり、そこでバザーを開き、ユニセフカードや古着を売ることにしました。部屋には、会員があちこちから集めたり、自分達で作ったりした品物を並べ、壁にはポスターをはって「伝える」活動にもつなげました。

「ICPの部屋」は大盛況となり、ユニセフカードは学園祭2日目の午前中で売り切れてしまいました。「いくらの募金で何々が買える」といった張り紙に興味を持つ来場者が多く、「この募金で毛布が買えるのね」と声をかけてくれた生徒もいました。

活動は後輩へと...

学園祭の大成功もあり、昨年度末に会員数は18名になっていました。新学年がはじまり、高校3年生の半分は引退しましたが、後輩から活動を続けたいという声が上がリ、再度、職員会議で今年の同好会活動が認められました。現在中学校3年生から高校2年生を中心に16名の会員が活動を続けています。

「開発途上国の現状を知れば知るほど、学校に行けることひとつとっても当たり前ではないことが実感されるようになってきました。そして、こうしたことを実感するほど、勉強など他の面にも打ち込めるようになってきました。ぜひ、他の人にも知ってもらいたいと思います」と話す今泉さんたちの熱意は、着実に後輩に受け継がれているようです。



会員からの
手紙



「国際協力」に以前から興味を抱いていた私は、この同好会を結成するに当たりいろいろ悩んでいました。同好会を申請する前に、わたしは、モンゴルと中国を訪れる機会がありました。観光として訪れたのですが、実際に目にしたものは、学校に行かずに仕事をし、一日中、おとなと一緒に学校に通うことは当たり前のことです。しかし、世界中には字が書けなくても力仕事ができるたくさんいます。この同好会を結成して、世界で知り、衝撃的でした。この子どもたちのことをたちができることは、とても限られてしまうかもしれません。でも、現状を知って理解することは、後輩たちに、私たちのこの運動を引き継いで多くの生徒に知ってもらいたいと思います。
(高校3年 梶原 愛子)



学園祭 ICPの部屋

1999年

- 4月 職員会議の了承を得て活動を開始
ICP Times Vol.1 発行
 - 5月 コンゴ難民救援ユニセフ募金 (22,266円)
 - 6月 学園祭に向けての取り組み開始
 - 9月 ICP Times Vol.5 発行
「ユニセフカードってなあは」
 - 14~15日 文化祭で、初活動展示・ビデオ上映・ユニセフカード販売、フリーマーケットや募金活動をおこなう(118,300円を日本ユニセフ協会へ)
 - 11月19~20日 東ティモール難民救援ユニセフ募金(2,414円) モンゴル・マンホールチルドレン支援の衣料品を送る(*アジア・アフリカ環境協力センターを通じて、11-1月にかけて3回実施)
- *日本ユニセフ協会では衣料品等の物資は受け付けておりませんのでご注意ください
(アジア・アフリカ環境協力センター・Tel.078-392-3986)

2000年

- 1月 ICP Times Vol.10
「国際紛争波乱の1999年を振り返って」
- 6月 ユニセフカード・プロダクツ共同購入
学園祭に向けて準備開始
- 7月 北東アフリカ緊急ユニセフ募金(4,618円)

お知らせ

日本ユニセフ協会では、来春、ユニセフを活用した「総合的な学習の時間」について、授業事例・カリキュラム案などをまとめた資料を作成する予定です。活動事例やご意見等ございましたら、ぜひお寄せください。よろしくお願いたします。